

保育 おおさか

平成20年8月1日 第396号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

近畿ブロック保育研究集会

子どもの健やかな育ちをめざして—
「保育の動向と課題」について行政報告

近畿一円から850名参加

平成20年度近畿ブロック保育研究集会(主催・近畿ブロック保育協議会、社団法人京都市保育園連盟)が7月10日(木)、11日(金)の2日間にわたりホテルグランヴィア京都で開催され、近畿一円から850名を超える方が参加されました。

初日は行政報告と分科会(2面に詳細)が行われました。

行政報告では「保育行政の動向と課題」と題して厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長補佐の杉原広高氏が報告。平成20年度予算主要事項(保育関係)、少子化の現

開会式



状と政府の取り組み、認定こども園、保育所保育指針の改定、規制改革・地方分権関係などについて詳しく説明されました。杉原氏は最後に「子どもの健やかな育ちの保障のためにこれからご尽力願います」と結びました。

育ってほしい

「川ガキ文化」

—記念講演で立松和平氏



立松和平氏

2日目の記念講演は、国内外を旅する行動派作家で、近年は自然環境保護問題にも積極的に取り組まれている立松和平氏が「自然環境と子どもたち」と題し、幼少時の夏休みの川遊び体験を交えながら、「川ガキ」(川で遊ぶ子ども)について語られました。

記念講演要旨

「川ガキ」がいなくなつて久しい。今や絶滅危惧種です。私は栃木県で生まれましたが、鬼怒川で

よく遊びました。川で遊ぶには、川をよく知らなければなりません。私は川で色々なことを学びました。川には「川ガキ文化」があり、兄弟分が弟分に教えていくという構造です。

複雑な流れに負けずに泳ぐにはどうすればいいか、魚はどこにいるか、釣竿はどう作るか、どこに行ったら危ないか、そういうことを遊びながら、頭をゴツンとやられながら身につけました。川は学校や教室、先生はお互いの仲間同士です。

川は全国に約3万本あります。有名じゃなくても、ふるさとの川が大切なのです。そこで自然の楽しさや命の大切さを知って大きくなる子が増えれば、日本はよくなると思います。立派な「川ガキ」が育ってほしい。

(編集委員 T・S)



時間通りに始まらない。いつ終わるかかわからない。意見を言う人が決まっている。すでに決まっていることを確認するだけ。結局、何が決まったかわからない。そんな疲労感の残る会議を経験された方も多いのではないかと思っています。参加者の一人として何とかしたいと思うのですが、なかなか発言できません。誰しも生産的な会議にしたいと思っているはずなんです。

終了時間を決め、その時間内に結論を出す意気込みで参加する。今日の会議で何を議論し何を決めるか整理整頓する。好意的な関心の態度で臨み、経験の浅い参加者の意見も吸い上げる。このようなことを参加者全員で実行できたらと思います。会議を上手に運営することでコミュニケーションが深まり、議論を経て決定する安心感や組織への貢献度が実感できるのではないのでしょうか。みんなが元気の出る会議にしたいものです。

(編集委員 K・T)

近畿ブロック保育研究集会

分科会報告

第1分科会

育ちを振り返る

「着眼点」

記録表作り実践

◎「一人ひとりの発達をふまえた保育実践」を統一テーマに、大阪市立東中本保育所から「一人ひとりの育ちを大切に」と題し発表。

子どもたちが安心して生活ができるよう、子どもの育ちを丁寧に振り返る「着眼点」記録表を作り実践している。



第1分科会

例えば、絵本の読み聞かせでは、絵本を読んでもらっている子どもたちの姿をいろいろな視点から考える。保育士が自分たちで考え、他の保育士の着眼点と比べ、こういう見方もあると気づく。子どもの姿を観察する中で、自身の保育を振り返り、一人ひとりの育ちを大切に意識し子どもたちと接する一など。

◎神戸市北須磨保育園から発表のテーマは「子どもへの育ちを保障する」。開設時から、幼保一元の保育を進めている。幼保違ったニーズに対し、同じ空間で過ごすことで子どもたちの一人ひとりの育ちに合わせた保育ができる。

また時間の確保が難しくなることで、職員の役割やカリキュラムの見直し、課題を見つけないがら取り組むなどが可能となった。

保護者との関係作りで



第5分科会

第5分科会

児童虐待防止へ

小さなSOSを

見逃すな

―八尾市・こどものいえ

◎「児童虐待防止への取り組み」をテーマに、大阪府からは『こどものいえ(八尾市)』の村井昌子氏が発表。

「児童虐待防止への取り組み」の課題として子どもたちへの保育は当然ながら、親に対するサポートが重要と指摘。

は、幼保一元の特徴でもある混合クラスの担任が、すべての園児のようすをしつかり伝えることで、保護者との信頼関係が高まる。保育の質は保育者の質といわれるように、この取り組みによって職員の高質は大きく向上した。

(編集委員 M・H)



村井昌子氏(中央)

育など) ④関係機関との連携―について事例報告。これらの取り組みから、児童虐待を防止するには、子どもの日々の生活や成長に直接関わっている保育園が大きな役割を果たしていること、また小さなSOSを見逃さないことの大切さを再確認した。

◎助言者の京都市児童相談所所長・丹良一氏は、平成20年4月施行の児童虐待防止法改正で児童相談所の権限が強化された

平成20年10月30日(木) 11月1日(土)の3日間、広島国際会議場他に、第52回全国保育研究大会が開催されます。主催・全国保育協議会(以下、全保協)、広島県保育連盟連合会他。

1日目は行政説明及び全保協からの基調報告、2日目は、全保協の将来ビジョンに示した5つの取り組みのカテゴリーをもとに構成された分科会、3日目は、アーティストであり、広島県福山市生

●お知らせ●

第52回全国保育研究大会

まれの世良公則氏による記念講演が行われます。参加費は、15,000円。参加申込みについては、直接「名鉄観光サービス(株)広島支店」まで。

開催要綱・参加申込書等については、全保協会報「ぜんほきょう」6月号に同封し、全会員保育園に送られておりますが、ご入用の園は保育部会事務局(大阪府社協・施設福祉部)までご連絡ください。

☎06-6762-9001

ことを指摘したうえで、児童虐待の通告件数が過去最高の4万618件(平成18年度・19年度)に達したことを報告。要因は養育力の低下や虐待への認識の広がりと考えられると述べた。

虐待の種類や保育園と関係機関の連携事例なども挙げ、地域のネットワークの強化や関係機関すべての意思統一が不可欠と強調した。

(堺めぐみ保育園K・S)

平成 20 年度 食育年間指導計画 5 歳児 らいおん組 弥刀さつき保育園												
1 期				2 期				3 期				
健康な子 よく食べて 健康な子	できたよ！ 力まかせに 食べて！			* 個々の健康状態や好き嫌い・量・食の進み具合などを把握し、個人差に応じて食事量を調整し無理のないように楽しく食べられるようにする。 * 全身の運動機能が高まり、意欲的に体力遊びをすることで食べることに興味・関心が増す。 * 身体の健康や病気について関心を持ち、健康生活に必要な習慣を身につける。 * 噛むことの大切さを知り、意識してよく噛んで食べる。 * 食べ物と体との関係に興味関心を持ち自分から進んで様々な食品を食べようとする。 * 手洗い・うがい・歯みがきの大切さを知り、衛生面に気をつけるように知らせる。				* 健康な生活のリズムを身につける。 * 食べ物と体の関係に興味を持ち、いろいろな種類の食べ物や料理を味わう。				
	なんでも食べて おいしいな！ 興味を持って 食べて！			* 様々な教材や経験を通して、食べることへの意欲をもつ。 * 食べ物ができるまでの過程に興味を持ち、野菜を育てたり、収穫の喜びを味わったりする。 * 食品や調理器具に興味を持ち、保育士や友達と一緒にクッキングし食への関心の芽が伸びていくようにする。				* 様々な経験を通して、食べることへの興味や関心を持つ。 * 栽培、調理、食事等を通して食べ物の大切さや感謝する気持ちを、命の大切さに気づく。				
何でも食べて 興味を持って 食べて！	元気に声で いたたまて ママを助けて！			* 食事の場を共有する中で、友達との関わりを深める。 * 食事を作ってくれる人への感謝の気持ちを持つ。 * 食事の習慣が身につく友達と楽しみながら食事をする。(排泄、手洗い、準備、挨拶、片付け) * 配膳や片づけを友達と協力して進める。 * 楽しく食事をするための望ましい食事時の態度に気づき守ろうとする。 * 食べ方、箸、スプーンやフォークの使い分けや食器の持ち方などが分かり、一定の時間(30分程度)で食事をする。				* 保育者や友達と共に食事をして一緒に食べる楽しさを味わう。 * 食事に必要な基本的な習慣を身につける。				
	みんなが食べて ママを助けて！ ママを助けて！											
(教材(手遊び・歌・絵本・紙芝居)) (順次必要な教材を記載)												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行事食	子どもの日の集い	お泊り保育	七夕まつり夏の夕べ		お月見		おいもほりハロウィン		クリスマスもちつき	お正月	節分おぜんざい バレンタイン	ひなまつり バイキング
食体験												
家庭との連携 ★毎月給食日より知らせ健康・衛生・食習慣についての情報を提供する。 ★給食サンプルを展示し関心を持ち家庭の献立の参考にできるようにする。 ★四季折々の装飾を工夫し行事の由来、行事食を伝える。 ★マズン保育士の日を利用して、給食参観(試食)を行う。 ★フラスダより給食の様子、園での指導の経過などを知らせる。												

「弥刀さつき保育園」—東大阪市

シリーズ 食育

研修に参加しスキルアップ
—東大阪市の私立保育会

東大阪市では保育分野において、

- ◎豊かな食体験による「食を営む力」の育成
- ◎保育計画に連動した食育計画の作成
- ◎家庭、学校、地域などと連携した食育活動の推進といった一取り組みを進め、各保育園でもユニークな食育活動を展開しています。

私立保育会研修部会でも「食育」を全園が積極的に取り組めるよう研修を行ってきました。「食育とは・・・」に始まり「年齢ごとの年間食育計画」の作成を研究、給食調理研修では「噛む」をテーマに心身発達上の意義を学び「噛むためのメニュー」を調理実習で行いました。

また、今ではどこでも実践されている野菜の栽培・調理に加え、今年は10ヶ園で米づくりに挑戦。本格的に苗代から収穫までを体験し、保育会主催のおにぎりパーティーができた、と楽しいイベントを構想中です。

保育の目的は「脳を育てる知育」、「心を育てる德育」、「体を育てる体育」

保育に通じる「情熱と向上心」

大阪府保育サッカー連盟からのたより



と言われ「食育」はこれに並ぶものと思われがちですが、実はそれらの土台にあると考えるべきというのが正しいようです。「食育」について、偏食をなくす、調理体験をするといったことにとどまらず、総合的視野で位置づけるため保育士全員が順次、研修に参加しスキルアップした園もあります。そんな園の一つ、東大阪市の弥刀さつき保育園の「食育計画」(別表)を紹介します。

(編集委員 K・M)

大阪保育サッカーフェスティバルは今年、第20回を迎え、7月14日、サッカー日本代表コーチの小倉勉氏を講師に招き「日本のサッカー・世界のサッカー」をテーマに記念講演。小倉氏は「観る」をキーワードに、コーチとしての経験に触れながら力説されました。要旨はつぎの通り。

ただ漠然と「見る」のではなく、「観る」ことが大事。心を開いていないときは、話しかけても選手は聴いていない。そのために「心を観る」。選手に話したいとき「まさに、このタイミング」という時がある。頭に入っているのは抜けるが、ハートに入っていないのは抜けない。ハートに響くタイミングの時を待つ。心の動きを観るのである。

前日本代表監督のオシム語録に「ライオンに追い詰められたウサギは肉離れしない」というのがある。そういう気持ちでグラウンドを走れ！と指導者は「情熱と向上心」を忘れてはならない。保育に通ずるところがあるのではないか。

ドイツの子どものサッカーは、親がサッカーをよく知っているため子どももプレーにうるさい。中東では、教えられて身についた選手はいない。日本の親の干渉もない。日本の指導は教え込みが多い。サッカーの試合はゲームなのである。ゲームを楽しむことだ。

歴史のある大阪府保育サッカー連盟は「リーガー」を輩出しているが、北京五輪代表入り決定の本田圭佑君、後輩たちのためにもがんばれ！

そして、がんばれ日本！

(編集委員 M・H)



講師の小倉氏



ブロックだより

河内

「障がい児保育 研修部会」立ち上げ ―東大阪市の私立保育会―

東大阪市の障がい児保育に積極的に取り組んでいます。今年度は92名の障がい児の入所があり、全体の在籍者は357名のほりま。

私立保育会では研修部会の一環として障がい児保育の研修を続けてきましたが、昨年度から独立した『障がい児保育研修部会』を立ち上げました。障がい児保育の現場では、保育士に戸惑いや葛藤があり、また保護者からの専門的な知識のニーズも多く日々悩みを抱えているのが実情です。本研修部会では保育園

でしかできない保育の重要性を考え、今の保育に自信がもてるよう同じ悩みを抱える他園の保育士とグループ討議を中心に交流、保育力の向上をはかっています。昨年は高槻市の民間保育園で障がい児保育の現場を見学させてもらい、良い刺激を受ける機会となりました。今後も保育士がいきいきと、自信とやりがいを持って取り組めるよう、充実した障がい児保育を目指し、いろいろな研修内容を検討したいと思っ

保育園をたずねて

364

豊中市

おひさま保育園

「食」に力を入れる

おひさま保育園は豊中市の中央部に位置し、定員90人の保育園です。

地域の人々から「こんな保育園があったらいいな」と要望があり設立されました。地域に密着した、開かれた保育園です。

園の特色は、よく食べ、よく遊ぶ元気な子どもたち。特に「食」に力を入れています。四季を感じ



トマトをまるかじり!!

る旬の食材はもちろん、2歳児の秋には保護者の手作り竹箸で箸を導入。4歳児は梅干をつけたり、しそジュースなどに挑戦

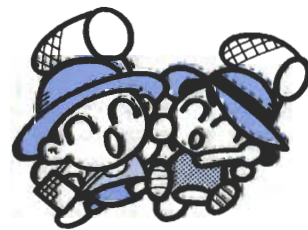
します。5歳児の夏には兵庫県自然観察村で2泊3日の泊り合宿。川で鮎を手づかみし、塩焼きで食べる。新鮮野菜を畑でまるかじりなど、楽しみの多い行事があります。

5歳児が留守の間は、4歳児が、来年は僕たちの番と言わんばかりに小さい子の世話をしてくれるアットホームな保育園です。

(編集委員 M・H)

ています。

(おひさま保育園 Y・K)



南大阪

“ホーキポーク”で

広がる友達の輪

―大迫力の運動会―

南大阪ブロック大運動会が6月27日、羽曳野市のコロセアム体育館で行われ、23ヶ園、630人の園児が参加、保護者あわせて1000人以上が集いました。

参加園が昨年より2ヶ園増え、体育館が子どもたちで埋め尽くされました。大きな体育館や大勢のお友だちに圧倒されていた子どもたちも、競技が始まれば、いつものように楽しそうに一生懸命参加していました。障害



府社協に入社した頃は、来日したボールをひと目見たきに東京へ、ビートルズを愛し、今でもバンドを結成するなど40を過ぎてなおロックが大好きな「元ちゃんまげ職員」といえば、我々が森垣施設福祉部長のことで



西鳥取夢学舎で園長をされておられるとか、いわば身内のような心強い方です。思えば府社協の五階ホールで、保育の先生方が行つた二人のための結婚披露宴は、私にとつていまだに忘れることのできない衝撃的なものでした。故井上常務の教えを受け継ぐ職員として、これからも種別を超えて、同じ目的に向かつて集える府社協づくりを是非よろしくお願い致します。(T・I)

で長い列車を作ると、そのまま大きな門を2つ作ってフオークダンス「ホーキポーク」を踊りました。他園のお友だちと仲良く手を取り合い、大満足の子どもたちの様子が伺えました。

(編集委員 N・M)

発行所
大阪府中央区中津1丁目1-1
大阪府社会福祉協議会
保育部
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 永野 治男
編集人 宮 武 勲